

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号	1
部	総合政策部	課	観光政策課

1. 指定概要

施設概要	名称	近江八幡市白雲館		建設年	明治10年（大規模修繕 平成6年）		
	所在地	近江八幡市為心町元9番地1		利用対象	全市 地域		
	設置目的	明治建築の原型を保存し、伝統文化の保存と継承および地域文化の普及振興を図り、多くの人々がふれあい文化を生み出す力を育むとともに観光および物産の振興を図り地域の活力を増進させる。					
	規模	敷地面積 801.15㎡、延べ床面積 492.48㎡、階数 地上2階、地下0階					
	指定管理開始年度	平成18年					
指定管理者	名称	一般社団法人 近江八幡観光物産協会					
	所在地	近江八幡市為心町元9番地1					
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ①施設又は設備の使用の許可等に関する業務 ②施設の維持管理に関する業務 ③施設の利用に関する料金の徴収等に関する業務 ④施設の設置目的の達成に資する事業に関する業務 ⑤施設の利用者の利便性を向上させるために必要な業務 ⑥その他施設の運営に関し市長が必要と認める業務 						
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日 （3年間）						
指定管理料	令和2年度： 7,500千円		令和3年度： 7,500千円		令和4年度： 7,500千円		令和5年度： 7,700千円（見込）
利用料金制	採用している			選定方式	公募		応募者数 1

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和4年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	<p>[目標] 施設等の日常点検、法定点検等を適切に行い、施設等の維持に必要な保守管理を行う。また、清掃業務を適切に行い、快適な環境を保つ。</p> <p>[具体的な取組] ①施設等の維持管理 ・施設等の日常点検、法定点検、定期点検等の実施 ・警備保障業務の実施 ・清掃業務の実施 ②備品の管理 ・備品の日常管理、消耗品の補給 ・貸出用備品の日常管理、消耗品の補給</p>	<p>①施設等の維持管理 ・施設等の日常点検、法定点検、定期点検等の実施（適時） 消防設備点検（年1回） ・警備保障業務の実施（随時） ・清掃業務の実施 ワックス掛け、窓ふき（8月、12月、3月） 庭木剪定（年1回） ②備品の管理 ・備品の日常管理、消耗品の補給（適時） ・貸出用備品の日常管理、消耗品の補給（適時）</p>	<p>(よかったと評価できる事項) 事故等がなく、適正な維持管理が行われた。</p> <p>(改善を要した事項と対応) 特になし。</p> <p>(課題) 建物の長寿命化に向けた管理。</p>
	(サービス運営向上策)	<p>[目標] 歴史文化遺産の保存と伝承、市民活動の情報発信の場として、さらなる利用促進を図るとともに、観光客の満足度向上のため観光案内をはじめとする来館者へのサービス向上を図る。</p> <p>[具体的な取組] ①施設の貸館業務 ・施設の利用許可 ・施設利用料金の徴収 ②観光案内業務</p>	<p>①施設の貸館業務 利用料金：373千円（前年度 270千円） ②観光案内業務 来館者数：62,123人（前年度 22,170人）</p>	<p>(よかったと評価できる事項) 休館情報やイベント情報を掲示板等に掲載し広く周知を行い、観光客の満足度向上を図った。また、こまめに観光情報の収集を行い、案内のワンストップ対応に繋がった。</p> <p>(改善を要した事項と対応) 特になし。</p> <p>(課題) 貸館利用のさらなる収益化。</p>
	(提案内容の実施業務) 自主事業	<p>[目標] 自主事業を行い、来館者へのサービス向上を図る。</p> <p>[具体的な取組] ・自主事業 喫茶、物産販売 歴史・文化イベント</p>	<p>自主事業収入：3,146千円（前年度1,359千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域特産品の販売 地元特産だけでなく、姉妹都市や夫婦都市の産物も取り揃えた どうする家康パネル展 美しい滋賀のパッケージデザイン展 近江八幡火祭りの展示 	<p>(よかったと評価できる事項) 定番商品の販売だけでなく、新しい商品の発掘、販売を行い、物販を通して本市の魅力を発信できた。</p> <p>(改善を要した事項と対応) 特になし。</p> <p>(課題) 自主事業のさらなる収益化。</p>

施設設置の目的達成状況	(施設利用状況 利用促進策)	[目標] 来館者数を前年以上とする。	来館者数：62,123人（前年度 22,170人）	(よかったと評価できる事項) 前年の来館者数を上回ることができた。
		[具体的な取組] リピーターを増やすべく、来館者の満足度の向上を図る。		(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 来館者数の維持及び増加。

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和4年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	■収入 (9,138千円) 指定管理料：7,500千円 利用料金：270千円 自主事業：1,360千円 雑収益：8千円 ■支出 (9,248千円) 人件費：4,710千円 事務費：2,534千円 管理費：1,100千円 自主事業費：904千円	■収入 (11,019千円) 指定管理料：7,500千円 利用料金：373千円 自主事業：3,146千円 雑収益：0円 ■支出 (10,671千円) 人件費：5,011千円 事務費：1,904千円 管理費：1,527千円 自主事業費：2,229千円	(よかったと評価できる事項) 通常業務に加え自主事業及びプロモーション等に注力し、自主事業収入を確保した。
			(改善を要した事項と対応) 特になし。
			(課題) 自主事業の収益化。

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	通年（2階利用者に対して）
評価頂いている内容	特になし。
苦情・意見等	駐車場がない、階段がづらい等。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

駐車場の確保や搬入口の大きさなど、今後白雲館を改善・改良する際に検討いただきたい。

6. 指定管理者の自己評価コメント

<p>前年に比べ、コロナ禍の脱却が一定程度図れたことで、回復の傾向が感じられる。一方で、賃上げや価格高騰などの経済面の上昇もあり、依然として行先不透明で厳しい面もある。 引き続き、業務改善等に因る各種経費の見直しと利用者の拡大を図りたい。</p>

7. 所属の総括コメント

<p>新型コロナウイルス感染症の影響が残る中ではあったが、自主事業等の実施により、観光客の誘客に努められた。また、職員の定期的な各種研修へ参加や、こまめに情報収集に務めるなど、来館者へのサービス向上を図ることができた。今後も、観光振興に寄与する取り組みを継続されたい。</p>
--